# 競技注意事項 （大会申し合わせ事項）

本大会は、障がいの有無に関係なく一緒に競技することで理解を深めることを主旨としています。パート1（日本陸連公認の部）の各種目には異なる障がいを有する競技者が参加しています。障がい特性により競技規則が認められた範囲内で配慮がされることがあります。パート2（日本パラ陸連公認の部）はパラ競技者対象の種目です。

パート1（日本陸連公認の部）エントリーのクラス別パラ競技者

| 種目 | | 100m | | 200m | | 400m | | 800m | | 1500m | | 5000m | | 走幅跳 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 障がい種別 | クラス | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 視覚障がい | T11 | 1 | | | | | | 1 | | 2 | | | | | |
| | T12 | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | |
| | T13 | 1 | | 1 | | 1 | | | | | | | | | |
| 知的 | T20 | 20 | 2 | 7 | 1 | 9 | 1 | 9 | | 10 | | 3 | | 3 | 2 |
| 脳原性まひ（立位） | T35 | | 1 | | | | | | | | | | | | |
| | T36 | | | 1 | | 1 | | | | 1 | | 1 | | | |
| | T37 | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | |
| | T38 | | 1 | | 2 | | | | | 1 | | | | | 1 |
| 機能障がい（立位） | T45 | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | |
| | T47 | 3 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | |
| 切断（義足使用） | T63 | 1 | 1 | | 1 | | 1 | | | | | | | | |
| | T64 | 3 | 1 | 2 | | | | | | | | | | | |

パート2（日本パラ陸連公認の部）エントリーのクラス別パラ競技者

| 種目 | | 100m | | 200m | | 400m | | 800m | | 1500m | | 走幅跳 | | 走高跳 | 円盤投 | | やり投 | | 砲丸投 | | こん棒投 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 障がい種別 | クラス | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 女 |
| 視覚障がい | T/F11 | 1 | 2 | | 2 | | | | | | | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | | 1 | | | |
| | T/F12 | 1 | 1 | | 1 | | | | | | | 4 | 2 | | | | 3 | | 1 | | |
| | T/F13 | 2 | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | |
| | T/F14 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | |
| 知的 | T/F20 | 2 | 2 | 1 | 1 | | 1 | | | | | 2 | 3 | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | |
| 脳原性まひ（車いす） | T/F33 | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | |
| | T/F34 | 5 | 1 | 2 | | 2 | 1 | 3 | 1 | | 1 | | | | | | 1 | | 1 | | |
| 脳原性まひ（立位） | T/F35 | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | T/F37 | 2 | | 3 | | 2 | | | | 1 | | 1 | | | 1 | | 1 | | 1 | | |
| | T/F38 | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 低身長 | T/F41 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | |
| 機能障がい（立位） | T/F43 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | | |
| | T/F46 | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | 1 | 1 | | |
| | T47 | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | |
| | T/F49 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | 1 | | |
| 機能障がい（車いす） | T/F51 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 |
| | T/F52 | 4 | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | T/F53 | 1 | | 1 | | 2 | | 1 | | | | | | | | | | | | | |
| | T/F54 | 7 | 4 | | | 5 | 3 | 8 | | 6 | | | | | | | | | | | |
| | F56 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | 1 | | |
| | F57 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | 1 | | |
| 切断（義足使用） | T/F62 | 3 | | 2 | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | T/F63 | 7 | 1 | 3 | 1 | | | | | | | 4 | 2 | | | | 2 | | | | |
| | T/F64 | 2 | 2 | 2 | 1 | | | | | | | 1 | | 1 | | 2 | | | | 1 | |

この競技注意事項は2つの対象に向けて書かれています。「全競技者対象」の部分はすべての参加者に共通の内容です。障がいを有する競技者は「パラ競技者対象」の項も適用となります。

1. **競技規則について**

第 1 部　日本陸連公認の部

2022 年日本陸上競技連盟競技規則、2022-2023 World Para Athletics（WPA）競技規則及び本競技会申し合わせ事項により実施します。

第 2 部　パラ公認の部

2022-2023 World Para Athletics（WPA）競技規則及び本競技会申し合わせ事項により実施します。

※WPA 競技規則及び規程のリンク　https://jaafd.org/sports/basic-knowledge#rule

第 1 部、第 2 部共通

ユニフォームのロゴをはじめ広告商標については、WA　または WPA の広告規程のいずれかに合致していれば可とします。

IPC 登録者でステータスが C もしくは R(有効期限内)の記録は WPA 公認となります。

2. **受付について**

**【全競技者対象】**

　競技者受付は、B ゲート外側に設置し、７：３０より受付を開始します。車いす利用者はエレベーターを利用してお越しください。検温を受け、体調管理チェックシートを提出した競技者、ガイドランナー、アシスタント、コーチ、付き添いには、リストバンドをお渡しします。装着が確認できない場合は、競技場スタンドとスタンド裏プロムナードへの立ち入りは認められませんので、常に装着してください（車いす競技者のウォームアップや競技中については車いすのフレームでも構いません）。また、アクセス区分を設けるため、競技者には「選手ID」、競技者１名につき１枚の「コーチID」を支給します。ガイドランナーとアシスタントには「ガイド・アシスタントID」を支給します。「選手ID」「コーチID」「ガイド・アシスタントID」保有者のみ、ウォーミングアップ時に限りトラックバックストレートへの入場を認めます。「選手ID」「ガイド・アシスタントID」保有者は、メインスタンド下の通路が通行可能ですが、指定された順路に従ってください。

3. **練習会場について**

**【全競技者対象】**

① 本競技場には、ウォームアップ用競技場（サブトラック）はありません。

② ７：３０～９：００、競技場のトラックでの練習が可能です。内側4レーンは車いす競技者、外側4レーンは立位競技者用とし、コーンで仕切ります。

③ 上記時間以外の競技中は、立位競技者に限り、バックストレート、トラック外側のコーンで示されたエリアでのみウォームアップが可能です。また、１００m 競走及び２００m 競走実施中に限り、バックストレート側のトラックも、使用可能です。

④　逆走や走路にとどまる等、危険をともなう行為を避けてください。

⑤　ウォーミングアップ終了後は速やかに退場してください。

⑥　このエリアに留まっての観戦や応援は認めません。

⑦　ウォーミングアップのため競技区域内へ移動する際はスタンド裏の競技場プロムナードの階段を通行してAゲートから入場、ダッグアウト下通路を通って（階段や急なスロープの通行に不安や支障のある方はグラウンド隅の通行も可）移動し、終了後はAゲートから退場することとします。なお、エレベーターの使用については階段の通行に支障のある方を優先してください。

⑧　ウォームアップ中やそれに伴う移動の際は、競技役員の指示に従い、事故のないよう十分に注意してください。

**【パラ競技者対象】**

⑨　車いす競技者は、バックスタンド裏側プロムナードのコーンで示されたエリアでの練習可能です。

⑩　投てき練習は競技開始前におこないます。立位では 2 回の練習投てきを保証します。座位は制限時間内で練習投てきが可能です。

## 4. 各種書類について

**【全競技者対象】**

「欠場届」「上訴申立書」の配布および受付は「TIC」にて行います。（TIC は競技場 A ゲート内側（招集所脇）に設置します）

「重複出場届」「リレーオーダー用紙」の配布および受付は「招集所」にて行います。

**【パラ競技者対象】**

上記に加え、「リクエスト・フォーム（ルールにないアシスタントの入場など）」の配布および受付は、「TIC」にて行います。

また、「補助申請書（スターティング・ブロック設置申請、マーカー設置申請等）」「競技者・ガイドランナー　スタート位置申請書」の配布および受付は「招集所」にて行います。

## 5. 招集について

**【全競技者対象】**

①　招集所は競技場 A ゲート内側に設けます。

②　下記の招集開始時刻に招集所に集合してください。

| 種　目 | 招集開始時刻 | 招集完了時刻 |
|---|---|---|
| トラック競技 | 競技開始時刻の　30分前 | 15　分前 |
| フィールド競技<br>(座位投てき以外) | 競技開始時刻の　４０分前 | ３０　分前 |

| | | |
|---|---|---|
| フィールド競技<br>（座位投てき） | 競技開始時刻の　30分前 | 15 分前 |

③　競技者はそのまま競技ができる服装にアスリートビブス（ナンバーカード）をつけマスクとリストバンド、必要に応じて防寒着等を着用して集合し、荷物はスパイク（必要な場合のみ）、水筒やペットボトル、タオル、帽子等、最低限にしてください。また、マスクは競技を行う際そのまま置いておくことのないよう衣類のポケットやケース、袋等に入れる、他の荷物の間に挟むなど感染症予防に留意し、終了後は直ちに装着してください。競技場設備およびスパイクピン保護の観点からスパイクの着脱は競技場所で行ってください。

④　代理人による招集は一切認めません。

⑤　招集所では、アスリートビブス、スパイク、衣類・バックなどの商標、車いす、所持品、ガイドランナーやアシスタントが帯同する場合には専用のビブス（各自で準備）のチェックを受けてください。

⑥　競技規則 7 条 3(b)により、携帯電話等の機器を競技場内に持ち込むことはできません。持ち込み禁止品があった場合、招集所で預かり、TIC で返却します。

⑦　欠場する場合は、招集開始時刻までに欠場届を「TIC」に提出します。

⑧　競技種目が重なり一方の種目の招集を受けられないまたは、招集完了時刻に間に合わない場合は、招集所に重複出場届を提出し、直接競技場所へ移動して当該種目の審判にその旨を伝え、指示に従ってください。

⑨　コーチや付き添い者の招集所への立ち入りは認めません。また、招集所入り口付近の混雑を避けるため特に支障のないかぎり競技者を送り届けた後はその場にとどまらず、直ちにスタンド等へ戻るよう努めてください。

**【パラ競技者対象】**

⑩　T11、T12の競技者で、400mまでのトラック種目においてガイドランナー（伴走者）を伴う場合は、招集時に「選手・ガイドランナー　スタート位置申請書」を提出してください。左右どちらを走るかを事前申告する書式です。

⑪　パラ競技者は⑤に加えて、車いす競技者はレーサー、ガイドランナーやアシスタントが帯同する場合には専用のビブス（各自で準備）のチェックを受けてください。

## 6.　アスリートビブス（ナンバーカード）について

**【全競技者対象】**

①　アスリートビブスは、1 名につき2枚配布します（胸・背用）。

②　アスリートビブスは、交付された大きさのまま付けてください。ただし、跳躍競技は胸・背いずれかに付けるだけでも構いません。

③　トラック種目では、招集所で配布された腰ナンバー標識を右側の腰に確実に付けます。ガイドランナーも同様です。車いす競技者はヘルメットの右側に付けます。

【パラ競技者対象】

④　車いす競技者は、背用を車いすの後部に付けます。（レーサー使用の選手においては、胸用は付けなくても構いません）。

7.　**競技エリアの入退場について**

【全競技者対象】

①　競技エリアの入場は、招集所で手続きを終え競技役員に誘導された競技者、ガイドランナー、アシスタントのみ可能です。

②　招集所から競技エリアへの入場、および競技終了後の退場は競技役員の指示に従います。荷物の回収がある競技者も含め全員がフィニッシュ付近、B ゲート脇に設けるミックスゾーンを通過します。

③　100m、200mに出場する競技者は、競技終了後、ミックスゾーンを通過の後、トラックの外側の部分（雨天時はダッグアウト下通路）を反時計回りに通行し、バックストレート側を通ってスタート地点に戻り、それぞれの荷物を回収してAゲートから退場します。

④　1500m及び5000mに出場する競技者は、競技終了後、ミックスゾーンを通過の後、反時計回り通行し、荷物を回収してBゲートから退場します。

⑤　400m、800mに出場する競技者は、競技終了後、荷物を回収してBゲートから退場します。

⑥　走幅跳については、競技終了後、競技役員の誘導により B ゲートから退場します。

⑦　上記③～⑦の経路を基本としますが、競技役員の誘導がある場合はこの限りではありません。

8.　**競技について**

【全競技者対象】

①　スパイクピンの長さは、9mm 以下とし、走高跳の場合は、12mm以下とします。

②　招集完了後は練習を含めすべて競技役員の指示に従います。

③　競技者は、勝手に競技場所を離れることはできません。

④　スタート時を含め、不適切な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技会から除外されます。警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことによって競技者に知らされます。

【パラ競技者対象】

⑤　両足義足使用の競技者（T61、T62）は、招集時に MASH（最大許可身長）の計測を行います。

⑥　<u>トラック競技</u>

【全競技者対象】

i.　記録会のため、トラック種目は予選・決勝の実施はありません。

ii.　レーン順は、プログラムに記載のとおりとします。

iii. 800mでは1レーンに2人が入り出走となることがあります。

iv. トラック種目は、申込時の申告（目標）タイム順で組み分けを行っているため、日本陸連公認の部では、障がいのある競技者とない競技者が一緒に競技を行います。

v. 短距離種目では、衝突事故を防止するためフィニッシュ後も自身のレーンを走ります。

vi. プログラム進行上支障をきたす場合は、競技を中止させる場合があります。

vii. 日本陸連公認の部 100m と 200m は 2 レース実施します。第 2 レースの組み分けは第 1 レースの記録順とします。番組編成は第 1 レース後、TIC と招集所で貼りだすほか、記録速報サイトで確認できます。

**【パラ競技者対象】**

viii. T11、T12のレーンを用いるトラック種目では、ガイドランナー（伴走者）の有無にかかわらず2つのレーンが割り振られます。なお、ガイドランナーを伴う場合は、招集時に申請した並びに従ってください。

ix. 車いす競技者は、ヘルメットを着用します。

⑦ <u>スタート</u>

**【全競技者対象】**

i. スタートの合図はすべて英語（「On Your Marks」「Set」）で行います。

ii. トラック競技はすべて写真判定システムを使用します。

iii. 競技規則 17 条により、1 回目の不正スタートで失格となります。

iv. スターティング・ブロックの使用が必須の種目では、スタート・インフォメーション・システム(SIS)を使用します。その際、不正スタートの判断は SIS によるリアクションタイムをもとになされます。

v. 光刺激システム（スタートランプ）は使用しません。

⑧ <u>アイマスク、アイパッチ</u> **【パラ競技者対象】**

T11の競技者は、完全に光を遮断し隙間なく顔に密着する不透明な眼鏡、アイマスクまたは適切な代用品、およびその下に「アイパッチ」を着用して競技しなければなりません。検査は招集時に行いますが、スタート地点、並びにフィールド競技場所で再検査を行う事があります。

⑨ <u>ガイド、およびアシスタント</u> **【パラ競技者対象】**

i. ガイドランナーおよびフィールド種目のアシスタントは、各自で用意したビブスを着用します。ビブスは招集時にチェックされ、許可されたもののみ着用可能です。

ii. T11、T12の競技者とガイドランナーは、常にテザー（ガイドローブ）でつながっていなくてはなりません。違反した場合は失格となります。

iii. T11、T12のガイドランナーが競技者の推進を助ける助力を加えた場合、またフィニッシュ時に競技者が先行しなかった場合には、ガイドランナーによる違反として競技者は失格となります。

iv. T11、T12の跳躍競技においては、アシスタントを同行させることができます。T11の跳躍は2名以内、それ以外は1名です。アシスタントは、ルール上支障がない限り競技者を誘導することができますが、競技成立以前に「砂場」に侵入し競技者を誘導した場合は、アシスタントによる違反となり、その試技は無効試技となります。

v. T12、T20、T35-38、T42-47、T61-64のトラック競技においては、招集時にスターティング・ブロックの位置を示す指定の「補助申請書」を「招集所」に提出することにより、競技者に代わり競技役員がスターティング・ブロックを設置することができます。

vi. T20、T35-38、T42-47、T61-64の走幅跳においては、招集時に助走路に置くマーカーの位置を示す指定の「補助申請書」を提出することにより、競技者に代わり競技役員がマーカーを設置することができます。

vii. 座位のアシスタントを伴う場合は、競技者を投てき台に移動できる者でなくてはなりません。移動の対応ができないアシスタントであっても、競技役員、補助員その他の者は、規則により手助けできませんので注意してください。

⑩ フィールド競技

**【全競技者対象】**

i. 距離のフィールド種目は男女一緒に競技し、全員 6 回試技とします。3 回目以降の試技順変更はおこないません。

**【パラ競技者対象】**

i. 視覚障がいの T11、T12走幅跳においては、1m×助走路幅に白色で記した区域を踏切エリアとします。走幅跳では着地区域から1m の位置が最先端となるように設置しますが、状況により踏切位置を調整することがあります。

ii. 投てき台の固定後、競技者の投てき台への移動、固定、及びその後の練習のための時間は F32-34 および F54-57 は 4 分以内、F31 および F51-53 は 5 分以内です。

iii. 座位投てき種目における服装（下衣）は、判定の妨げとならないよう身体に密着していなければなりません。

iv. 座位の投てき競技は 6 連投です。それぞれの投てき時間は 1 分、3 投後 1 分休憩をとることができます。

v. 投てき台、レーサーの検査は招集時に行いますが、スタート地点もしくは競技場所で再検査を行うことがあります。

vi. 車いすの競走競技に出場する選手は、ヘルメットを着用しなくてはなりません。

vii. 走高跳はつぎの上げ幅で競技を実施します。

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 150 | 155 | 160 | 165 | 170 | 175 | 180 | 185 | 190 | 193 | 196 | 199 | 201 | 以降 2cm |

9. **競技用具について**

**【全競技者対象】**

競技に使用する器具は、全て主催者が用意したものを使用しなければなりません。

**【パラ競技者対象】**

i. 不透明な眼鏡、アイマスクまたは適切な代用品、アイパッチ、テザー及びガイドランナー、アシスタントのビブスは各自で用意してください。主催者による貸し出しは一切行いません。持参忘れ、破損や規則に合致せず使用できない場合は、WPA ルールにより DNS(欠場)として扱います。

ii. 投てき用具については、競技場に備え付けがない、もしくは 1 点しかないブランドに限り、1 人上限 2 個まで、WA 認証品で技術総務の検査に合格したものに限り持ち込みを認めます。当該用具は主催者で借り上げ、参加競技者全員が使用できるものとします。WA 認証品に該当せず、パラ陸上独自の投てき器具を持ち込む場合も同様とします。投てき用具の持ち込みを希望する競技者は、当該種目の招集開始 90 分前までに「TIC」に「個人持ち込み投擲用具検査申請書」とともに投擲用具を提出してください。受け付けた投てき用具については「預り証」を発行し、競技終了後、預り証と引き換えに「TIC」で返却します。

iii. 投てき競技に参加する競技者でタンマグなど滑り止めが必要な場合は各自で用意してください。

10. **クラス分けについて 【パラ競技者対象】**

本競技会ではクラス分けは実施しません。

国内クラス分けステータスが「C」または「R 有効期限内」による記録は日本記録の対象となります。

国際クラス分けステータスが「C」または「R 有効期限内」による記録は世界記録及びアジア記録の対象となります。

11. **ドーピング・コントロール・テストについて 【パラ競技者対象】**

① 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。

② 本競技会参加者（18 歳未満の競技者含む。以下同じ）は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなします。18 歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。

③ 本競技会に参加する 18 歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯してください。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイト（https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html）からダウンロードできます。18 歳未満の競技者は、

ドーピング検査の対象となった際には、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出してください。なお、親権者の同意書の提出は 18 歳未満時に 1 回のみで当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出てください。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査終了後 7 日以内に JADA 事務局へ郵送で提出してください。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続きに一切影響がないものとします。

④ 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意してください。

⑤ 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動　終了後 2 時間の安静が必要となるので留意してください。

⑥ 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト（http://www.playtruejapan.org）にて確認してください。

## 12. 抗議と上訴について

**【全競技者対象】**

競技中の判定について、競技者自身が審判長に対し、競技場所で直ちに抗議できます。競技後は、記録の公式発表から30分（大型スクリーン表示時刻を基準とする）以内に競技者自身または代理人が TIC に口頭で申し出てください。審判長が判定し、TIC を通じて裁定を伝えます。この裁定に不服がある場合は、「上訴申立書」に記入のうえ、預託金（1万円）を添え、TIC を通じてジュリー（上訴審判）に申し立てを行ってください。

## 13. 表彰にについて

**【パラ競技者対象】**

パラアスリートを対象に、WPA 世界記録樹立者には、NAGASE プライズとして特別協賛の長瀬産業株式会社から賞金（20 万円）が贈られます。 伴走者がいる種目での世界記録樹立の場合は、伴走者に対しても賞金（10万円※）が贈られます。※伴走者が 2 名の場合は、2 名で計10万円となります。表彰は行いません。

## 14. 一般注意事項

**【全競技者対象】**

① トレーナブースは開設しません。

② 競技結果および番組編成リストは電光掲示版での発表でご確認ください。
速報サイトで確認にも掲載します。

■パソコン・スマートフォン版

URL: https://gold.jaic.org/jaic/para/results/2022/nagase/kyougi.html

■携帯版

URL: https://gold.jaic.org/jaic/para/mobile/2022/nagase/kyougi.html

③ 希望者には記録証を1部300円で発行しますので10:00～13:00に、TIC へ申し込んでください。郵送等は行いません。

④ プログラムに誤記がある場合は、出場する競技の2時間前までにTICに申し出てください。なおプログラムの記載事項は、申込の際に送信されたデータをそのまま使用しています。（受付用紙は TIC に置きます）。

⑤ 悪天により競技を一部中断もしくは中止することがあります。

⑥ 各種目の記録については、2022年6月23日時点のものです。

⑦ 撮影についてのお願い：悪質な写真・ビデオの盗撮から競技者を守るため、本大会中撮影が許可されるのは下記の者に限ります。

1）大会運営本部より許可され、腕章またはビブスを付けたカメラマン

2）出場競技者の学校、クラブ等の関係者や保護者、家族等

3）大会事務局

また、撮影禁止区域が設定されている場合は、その区域からの撮影はできません。

なお、場合によっては、上記に該当するか確認することがあります。

⑧ 大会期間中撮影した画像・映像は、主催者および協賛社の広報、またその他陸上競技普及に関する広報に使用することがあります。

⑨ 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡してください。ただし、大会では応急処置しかできないので、参加にあたっては医師の診断を受けるなど、自己の責任において健康と安全に十分留意してください。なお、主催者において期間中の傷害保険に一括加入しているため、この保険が適用される場合があります。

⑩ 救急車などの緊急車両を手配する事態が起きた場合は、一刻を争う事態でない限り競技会運営本部および競技場側を通じて行うものとします。

⑪ 競技場

i. 競技場の関係者入口の開門は7:00、 閉門は17:00とします。

ii. 競技場の観客席の開門は7:30、閉門は17:00とします。

iii. 貴重品及び荷物は各自で管理してください。万一の事故があっても責任は負いません。

iv. 届けられた遺失物は TIC で競技終了まで保管します。

v. 本大会では、競技会場における広告及び展示物に関しては、WPA 規則を適用しますので、スタンドでの個人名を記した応援用のぼり、旗の掲出・展示は認められます。観客の視界の妨げとなる場合は移動または撤去いただきます。企業名については主催者が特に認めたもの以外は認められません。

vi. 応援において、周囲の観客へ応援グッズを配布すること、応援グッズに所属企業名（スポンサー名）の露出をすることを禁止します。（ただし、本競技会スポンサーはその限りではありません）。

vii. 競技場の環境美化に協力してください。各自出したゴミは持ち帰ってください。

viii. 競技場及び競技会で使用できる施設以外への立ち入りは禁止します。

⑪ 更衣室など

i. 更衣室は、極力三密を避けて使用してください。

ii. 更衣室の利用は本競技会に出場する競技者のみに限定し、3AB更衣室を男子用、2AB更衣室を女子用とします。

iii. 更衣室への移動の際はスタンド正面入口を入って左側の階段の通行を基本とし、利用します。更衣室から先の屋内廊下を通行することは禁止します。ただし、階段の通行に支障や不安のあるかたについては、Aゲート側のエレベーターの使用とAゲートから更衣室までの屋内廊下の通行を認めます。なお、これらに該当しない屋内廊下の通行は更衣室を利用する場合を除き競技役員の誘導がないかぎり禁止とします。

iv. 更衣室への付き添いは競技者が1人で移動や更衣ができない場合のみ、1競技者につき1名に限り許可します。更衣室への移動時も、競技者、付き添いともマスクおよびリストバンド、ID を必ず身に付けてください。

**⑫ 靴底の厚さ**

**【全競技者対象】**

・規定を超えるシューズでの出場は認められません。

・障がい特性により医療目的の中敷き無しでは競技が困難な競技者は、TIC にリクエストフォームを提出し許可を得てください。 https://jaafd.org/wp-content/uploads/2020/09/20200901a2.pdf

| 種目 | ソールの厚さ | 補足 |
|---|---|---|
| フィールド種目（三段跳除く） | 20mm | 全ての投てき種目、高さの跳躍及び、三段跳を除く長さの跳躍種目に適用。全てのフィールド種目において、競技者の前の部分の中心点のソール厚さは、競技者のかかとの中心点のソール厚さを超えてはならない。 |
| 800m 未満のトラック種目（含むハードル） | 20mm | リレーにおいては、各走者の距離で本規則が適用される。 |
| 800m 以上のトラック種目 | 25mm | リレーにおいては、各走者の距離で本規則が適用される。 |

【参考】クラス別投てき物の重さ

| 種目 | | 円盤投 | | やり投 | | 砲丸投 | | こん棒投 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 障がい種別 | クラス | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 女 |
| 視覚障がい | F11 | 2.0kg | 1.0kg | | 600g | | | |
| | F12 | | | 800g | | 7.26kg | | |
| | F14 | | | 800g | | | | |
| 知的 | F20 | | 1.0kg | | 600g | | 4.0kg | |
| 脳原性まひ(車いす) | F34 | | | 600g | | 4.0kg | | |
| 脳原性まひ(立位) | F37 | 1.0kg | | 600g | | 5.0kg | | |
| 低身長 | F41 | | | 600g | | | | |
| 機能障がい(立位) | F43 | 1.5kg | | | | 6.0kg | | |
| | F46 | 1.5kg | | 800g | 600g | 6.0kg | | |
| | F49 | 2.0kg | | 800g | | 7.26kg | | |
| 機能障がい(車いす) | F51 | | 1.0kg | | | | | 397g |
| | F56 | 1.0kg | | 600g | | 4.0kg | | |
| | F57 | 1.0kg | | 600g | | 4.0kg | | |
| 切断(義足使用) | F63 | | | 800g | | | | |
| | F64 | | 1.0kg | | | | 4.0kg | |

## 公式投てき物一覧

| 用具 | 種別 | メーカー | 品名等 | 規格等 | 数量 |
|---|---|---|---|---|---|
| 砲丸 | 7.260kg | NISHI | 鉄製 | φ129mm | 6 |
| | | | | φ125.5mm | 4 |
| | | | | φ120mm | 1 |
| | | ベルグ | 鉄製 | φ120mm | 1 |
| | | | 真ちゅう | φ110mm | 1 |
| | 6.000kg | NISHI | 鉄製 | φ120mm | 4 |
| | | | | φ117mm | 6 |
| | 5.000kg | NISHI | 鉄製 | φ110mm | 14 |
| | 4.000kg | NISHI | 鉄製 | φ109mm | 4 |
| | | | | φ103mm | 7 |
| 円盤 | 2.000kg | NISHI | SUPER | φ220.5mm | 3 |
| | | | HIGH MOMENT | φ220.5mm | 3 |
| | | | スーパー(黒) | φ220.5mm | 6 |
| | 1.500kg | NISHI | SUPER | φ210.5mm | 14 |
| | 1.000kg | NISHI | SUPER | φ181.5mm | 5 |
| | | | HIGH MOMENT | φ181.5mm | 3 |
| | | | スーパー(黒) | φ181.5mm | 5 |
| | | | スーパー(紫) | φ181.5mm | 1 |
| やり | 800g | NEMETH | FLYING HISTORY 80 | 80m | 1 |
| | | | M. NEMETH KLASSIC | 80m | 1 |
| | | NORDIC | CHAMPION | ／ | 1 |
| | | | SUPER ELITE 90 | 90m | 1 |
| | | | SUPER ELITE 800 | Flex.6.8 | 2 |
| | | アポロ | Laser | 100m | 1 |
| | | | OLYMPIC GOLD | ／ | 1 |
| | | NISHI | HYBRID WING | ／ | 1 |
| | | | SUPER | 80-90m | 1 |
| | | | Super | 80m(F453C) | 4 |
| | | | Long | 70m(F454C) | 1 |
| | | | LONG | 60-70m | 3 |
| | | | Medium | 60m(F455C) | 1 |
| | | | MEDIUM | (赤、シルバー) | 2 |
| | | | MEDIUM | 50-60m | 1 |
| | 600g | NORDIC | DIANA 80 | 80m | 2 |
| | | | DIANA 70 | 70m | 1 |
| | | | DIANA 60 | 60m | 1 |
| | | | DIANA Classec | Flex.7.2 | 2 |
| | | | STAR | ／ | 1 |
| | | NEMETH | M. NEMETH | 75m | 1 |
| | | アポロ | OLYMPIC GOLD | 85m | 1 |
| | | NISHI | SUPER | ／ | 1 |
| | | | SUPER. DR | 55-65m(F463C) | 4 |
| | | | LONG. DR | 45-55m(F464C) | 5 |
| | | | MEDIUM. DR | 30-45m(F465C) | 1 |
| こん棒 | 397g | 都工芸高製 | Tokyo2020モデル | | 4 |